



か で な

平成26年 8 月発行

第149号

おもしろ ひ か り
題字:大城妃加里
屋良小学校 5年生

議会だより



夏休みさわやかラジオ体操（ロータリー広場）7月19日（土）

平成26年6月定例会 ～主な内容～

（会期6月10日～19日）

- 平成26年度補正予算 P-2
- 第16回・18回臨時会 P-3
- 議会基本条例の概要 P-4
- 町政を問う！14名の議員が一般質問 P-5
- 議会見てある記、題字紹介 P-20



町の文化財・名所：久得の拝所

この拝所は、1893年（明治26年）頃、この地に入植した人々が豊作と健康と安全の守護神として1902年（明治35年）に建立した。毎年旧の9月9日には、字民によって祈願祭が行われている。（嘉手納弾薬庫地区在）

嘉手納町議会ホームページ

嘉手納町議会

検索



シリーズ
22

づくりに向け

高規範

条例制定!

6月定例会

平成26年第17回(6月)定例会を6月10日から6月19日までの日程で開催した。

本定例会では、平成26年度補正予算、議員発議による「議会基本条例」を含む議案5件、報告2件、諮問1件が提案され原案のとおり可決した。

平成 26 年度補正予算

会 計 名	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計	1,478 万円 (増)	70 億 334 万円
国民健康保険特別会計	91 万円 (増)	22 億 1,393 万円

条例制定、改正等

議案番号	件 名	議決結果
議 案 第 3 号	嘉手納町税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議 案 第 4 号	嘉手納町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
諮 問 第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦について 諮問のとおり上地義次氏を適任と認め答申	答 申
議員提出議案第1号	嘉手納町議会基本条例の制定について	原案可決



集出荷施設電動シャッター取替工事 329 万円



沖縄フェスティバル in ハワイ派遣事業委託料 846 万円



嘉手納幼稚園仮設園舎賃借料
嘉手納幼稚園仮設園舎敷地整備工事 3,779 万円



北区周辺施設配置計画策定事務委託料 235 万円

主な補正事業

町民の負託に応え豊かなまち

議会運営に関する最高

議会基本条例



嘉手納基地第18航空団へ抗議

平成26年5月15日、嘉手納基地所属のF・15が訓練中にエンジン部分の金属を落下させた。また、4月24日にはH・60救難ヘリが、通風孔のカバーを落下させるなど、部品落下事故が相次いで発生している。

米軍は、戦闘機の飛行中止をすることなく訓練を最優先し、嘉手納基地周辺居住地上空での低空飛行や急旋回訓練が継続され、安全性への不安や反発は一層強まり、万が一、整備不良の米軍機が密集した居住地域に墜落する事故となれば、住民を巻き込む大惨事となることは必至であり、町民は常に危険と隣り合わせの状態にある。

嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、米軍及び関係当局に対し厳重に抗議した。

第16回臨時会

26.5.22

続発する米軍機による部品落下事故に対する抗議決議

平成26年7月16日、第18回臨時会で意見書案第2号「集団的自衛権行使を容認する解釈改憲の慎重なる審議を求める意見書」が《賛成10・反対4》可決され内閣総理大臣等8関係機関に郵送されました。

同意見書では、憲法改正の手續きを踏まず憲法解釈を変更することで集団的自衛権の行使を可能にすべく閣議決定と指摘。国民的議論もないままの決定は拙速であり到底容認できるものではない。

行使容認は米軍基地を抱える嘉手納町に極めて深刻な事態を招くと訴え安部内閣に強く抗議し、国会での慎重審議を求めている。

集団的自衛権行使を
容認する解釈改憲の
慎重なる審議を求め
る意見書

第18回臨時会

件名	議決月日	出席者数	議決者数	賛成者数	反対者数
集団的自衛権の慎重審議に関する意見書	7/16	15	14	10	4

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
宇榮原京一	古謝友義	安森盛雄	奥間政秀	新垣貴人	照屋唯和男	仲村渠兼栄	石嶺邦雄	當山均	福地勉	知念隆	金城利幸	奥間常明	田崎博美	田仲康榮	德里直樹
×	○	×	○	×	○	○	欠	○	○	×	○	○	○	○	—

賛成「○」 反対「×」 欠席「欠」 退席「退」 議長は賛否同数以外は採決に加わらないため「—」

※ 嘉手納町議会では、議会基本条例の基本理念「開かれた議会」の実現に向け個々の主な議決等に対する議員の賛否を公表し、議員の考え方を明確にしていこうとしています。

嘉手納町議会基本条例！

議会は町民にとって身近な存在であり、かつ十分な信頼を得ているだろうか。このような反省を踏まえ、「住民に身近で信頼される議会」を築くため、議員個々の認識の転換、議会組織の変革を目指し、議会運営の最高規範として「議会基本条例」を制定することとなりました。

先進地の議会基本条例をコピーするのではなく、条文に込められている理念、方向性、条例化することによる町民への影響などを念頭に条項ごとに一字一句慎重に検討し創り上げました。

規則・規程等の内規にとどめず条例化した意義は、議会が選挙により構成が変わっても継続的に改革して行くことの町民に対する約束であり、その担保となるからです。

まさに議会改革に関する町民への公約と言えます。

今後、町民の多様な意見を拾い集め、多元的な問題提起を積極的に行い、町民にとって最良な政策や財源の使途を決定するよう心がけます。

その役割を果たすことこそが、「住民に身近で信頼される議会」を築く最大の保証であり、議会組織が存在する意義であることを全議員で再確認しました。

主な条項の解説

前文

議会も町長も町民が直接選挙で選び、ともに町民を代表する機能が与えられていることから議会と町長は独立対等な立場であることをわかりやすい言葉で表現した。

一般会議の開催

町政の諸課題に柔軟に対処するため、町政全般にわたって、議員と町民等が自由に情報及び意見を交換する一般会議（議会が主催する町民参加型の会議）を開催することができるとを規定した。

重要な議案に対する各議員の賛否等を公表

議員に対する町民の評価が的確になされるよう、重要な議案に対する各議員の賛否等を議会広報等で公表することを規定した。

議会報告会の開催

議会として説明責任を果たし、さらに多様な住民意思・意見を聴取する場として、議員全員による議会の報告する場を年1回開催することを規定した。

反問権の付与

議員の質問に対して論点及び争点を明確にするため、反問することができることを規定した。

政務活動費の交付

町政に対する調査研究及び政策提言に資するため、議員に政務活動費を交付することができるとを規定した。

政務活動費の使途に関する公正性、透明性を確保するため、証書類を添付した収支報告を義務付けし、その活動状況を議会広報での報告など、詳細は別に条例で定める。

調査機関の設置

議会活動に関し、専門的事項に係る調査が必要であると認めるときは、学識経験を有する者等で構成する調査機関を設置することができることを規定した。

議会サポーター制度

議会及び議会事務局は、広く英知を結集して活動をするため、町内外から自主的な協力者（以下「議会サポーター」という。）を募り、その協力を得ることができることを規定した。

議会サポーターの氏名は公開し、その協力活動は無償とする。

議員の政治倫理

議員は、町民の負託に応えるため、高い倫理的義務が課せられていることを常に自覚し、町民の代表者として良心と責任感を持って、自己の地位に基づく影響力を行使することによって町民の疑惑を招くことのないよう行動するとともに、議員の品位を保持し識見を養うよう努めなければならないことを規定した。詳細は別に条例で定める。

最高規範性及び議会、議員の責務

本条例は、議会運営における最高規範であつて、議会は、この条例に違反する議会の条例、規則等を制定してはならない。また、議会及び議員は、この条例に定める理念及び原則に基づいて議会を運営し、町民に対する責任を果たさなければならないことを規定した。

※「政府活動費の交付」及び「議員の政治倫理」に関しては、別に条例で定めた後に実施されます

嘉手納町議会の基本条例の全文については、町議会のホームページに掲載しています！

町政を問う

題字：新垣 貴人 議員

14人の議員が一般質問

- 田 仲 康 榮 P 6
 ■認知症の早期発見と支援対策
- 當 山 均 P 7
 ■環境省による大気汚染調査結果を踏まえ
- 安 森 盛 雄 P 8
 ■基地内大学メリーランド大学との留学制度が図れないか
- 宇榮原 京 一 P 9
 ■住宅用火災警報器設置の普及啓発の強化を
- 照 屋 唯和男 P 10
 ■再開発駐車場を問う
- 仲村渠 兼 栄 P 11
 ■貸出用 AED を早急に導入を
- 金 城 利 幸 P 12
 ■400 年祭の寄贈泡盛は今どこに眠るのか「広報かでな」でホットな話題提供を
- 古 謝 友 義 P 13
 ■沖縄一長いベンチの設置を
- 知 念 隆 P 14
 ■公共施設に LED 照明の導入を図れ
- 奥 間 常 明 P 15
 ■嘉手納弾薬庫地区内に沖縄一のメガソーラシステム設置を
- 新 垣 貴 人 P 16
 ■町内の十字路の交通安全対策は
- 石 嶺 邦 雄 P 17
 ■チャレンジデーへの参加を
- 奥 間 政 秀 P 18
 ■学校給食共同調理場の進捗状況は
- 徳 里 直 樹 P 19
 ■沖縄県民間住宅耐震診断・改修等補助事業への取り組みは

(質問順)



田仲 康 榮

問1 認知症の早期発見と 支援対策

問 「特別養護老人ホームは、原則要介護3以上でないと入れない」、「介護保険に2割負担の導入」など医療・介護制度を根本から改善する「医療・介護総合法案」が自民・公明の賛成多数で強行可決され、認知症への支援が困難となる。認知症は適切な支援がなければ2倍、3倍の早さで症状が進行する。ボランティアでは対応できない。同法は撤回すべきだ。年間一万人が行方不明になり最悪の事例では死亡するケースがある。認知症対策はとりわけ重要であり、国民の願う安心の介護が絶対必要である。本町での対策を伺いたい。

1 本町での認知症の実態は、患者数は。

2 町としての取り組み、予防支援対策は。

3 担当部署・職員数は・資格の有無は。

4 対策費用は。

答 福祉課長

1 本町の認知症の患者数は、平成26年3月末現在で371人。

2 本町の取り組みとして①家族、地域からの認知症に関する相談への対応。②高齢者、高齢者自身が認知症を予防するための取組み。③認知症の方を地域で支える取組みの3つの柱を行っている。一つ目の柱では社会福祉士で聞き取りを行い対応の仕方、専門病院等への紹介。二つ目の柱では予防教室じんぶんクラブを開催、三つ目の柱は、認知症サポーター養成講座を開催、認知症者や家族を見守っている。

3 担当部署は福祉課・地域包括支援センターの職員2人と委託職員1人の3人が担当し資格は保健師、社会福祉士、看護師となっている。

4 対策の費用としては平成25年度では505万円。

問2 18才まで医療費無料の 拡大

問 経済的負担の軽減、子どもの健やかな成長を支援するため医療費無料の年齢枠拡大は医療福祉向上の重要なことだ。18才までの無料化拡大は町民の願いに応えるものだ。子育て世帯の支援と人口増対策に力を入れるべきではないか。

1 昨年3月定例会での質問に対し、高校生家庭の医療費助成の必要性、公平性の確保、他の対策との優先順位など検討が必要と考えたかどうか。

2 あらためて事業実施にかかる必要経費を明確にしてほしい。(昨年三月時点で現行経費に228万円の追加、総額4541万円で無料化可能)

答 子ども家庭課長

現行より245万円の増で可能

1 限りある予算のなかで現在実施の所得制限なし、3才児の医療機関ごと月千円の自己負担を行わず、食療養費助成など恒常的な事業とするためにも対策年齢の枠を拡大するより現状を継続していきたい。優先順位についても子ども子育て支援事業、自動償還事業に提供していきたい。

2 高校一年生から高校三年生まで助成対象を拡大すると254万円の増加。平成26年度は4775万7000円なので合計5029万7000円となる。

問3 異常な米軍機事故への 対応強化を



米軍機の出入で激しく動く嘉手納基地 (6月中旬)

問 今年に入り嘉手納基地米軍機の事故が多発し、町民の生命、安全、財産をおびやかす異常事態が続いている。事故発生は米軍機の運用過密、訓練激

化、安全管理、整備点検の不徹底のなかで起きている。一歩まちはがえ、町民をまきこむ大惨事になりかねない。事故機・部隊撤去・嘉手納基地の撤去・返還でしか根本的な解決はできない。

これまでの町当局、三連協の米軍機事故に対する取組み、今後の対応について伺いたい。

答 基地渉外課長

F15の撤去を米国及び政府に要求していく。

部品落下事故は三連協として第18航空団、沖縄防衛局に再発防止と安全管理の徹底を強く申し入れた。住民の生命を無視した基地運用は容認できない。一九九七年に在日米軍の事故発生時の通達手続が合意されている。HH60ヘリの通報遅れは、抗議要請を行い迅速な対応を要求している。事故公表については継続して抗議していく。

F15戦闘機の即時撤去については、米国側に継続してもとめて行きたい。



当 山 均

問1 環境省による大気汚染 調査結果を踏まえ

問 昨年度、環境省は嘉手納飛行場周辺における航空機等から排出される大気汚染物質による環境への影響調査を実施し、その結果が報告された。

答 調査結果では「全測定物質について、全ての測定地点で環境基準値を満たしている」及び「飛行場周辺で特に大気汚染物質濃度が高い傾向は見られなかった」とし、航空機排出ガスの周辺大気環境に対する影響は小さいと結論付けたことを踏まえ、調査結果に対する見解を問う。

答 基地渉外課長

排気ガスの影響を確実に捉えているとは言えない。

調査期間が短かったこと、風向きが北から東寄りの風だったことなどから、排気ガスの影響

を確実に捉えているとは言えない可能性が考えられる。

問 これからの町の対応、取り組みは。

答 基地渉外課長

町独自の調査も検討したい。

一つの案として、町独自で航空機から発せられる排気ガスの排出ピーク時のサンプルと、平常時の大気の回収を行い分析することにより、航空機による排気ガスの成分について把握できるのではないかと考えている。

また、環境省へは今後も継続して協力頂けるよう要請を行っていききたい。

答 町 長

環境省を訪ね、さらに細かな説明等を聞きたい。

7月上旬、防衛省への要請行動を予定しているので、環境省へも足を運び、今回の調査の内容等について、さらに細かな説明等を直接聞きたい。

その際には、議会の代表者も一緒に行きたいと考えている。

問 沖縄県等に対し、「航空機騒音による健康影響に関する調査」の再実施の要請を。

平成11年3月、沖縄県が発表した「航空機騒音による健康影

響に関する調査報告書」では、聴力障害、幼児の身体と精神の行動、低出生体重児の発生率など航空機騒音が住民の健康に影響を及ぼしている実態を裏付ける結果となった。

調査から15年が経過するが、航空機騒音は軽減されていない現状を踏まえ、沖縄県等に対し、「航空機騒音による健康影響に関する調査」の再実施を要請し、その実現に向け具体的かつ積極的に取り組むことを提案する。

答 町民保険課長

今後、関係機関と協議し、要請も検討していきたい。

県が報告書を発表した後、WHOでは環境騒音のガイドラインを示し、WHO公衆事務局は公衆における夜間騒音のガイドラインを公表している。

今年5月、厚木爆音訴訟において、両ガイドラインを運用し原告の主張を信用に値すると認め、自衛隊の深夜、早朝の飛行差止めを命じる判決が示された。本町も健康影響については、同判決や各種調査資料等を収集、検討を行わなければならないと考えている。健康影響調査の再実施については、今後、関

係機関と協議を行いながら、要請についても検討していきたい。

問2 議員報酬の減額より、 議員定数削減の提案を

議会基本条例(案)に対する

議会代表者と行政代表者との意見交換会において、行政側から示された資料のなかで、「議員報酬で比較すると中部町村にお

いて、一番少ない人口を有する本町が、2倍の人口を有する北

谷町と同額で一番高くなっている」、「政務活動費の支給に当たっては、報酬の検討も必要とする

ものと考えている」との考え方が明記されていることを踏まえ、質問及び提案を行う。

問 議員報酬減額の方針は。

答 町 長

現在、検討は行っていない。

議員報酬は、平成17年3月に改正が行われ現在に至っている。

政務活動費支給に伴う議員報酬の減額については、現在のところ検討は行っていない。

問 議員定数の削減が、町民の理解及び支持を得やすいと考えるが、町長の見解は。

議会はベテラン、中堅、若手

のバランスが重要であり、次々と若者が立候補できるよう、報酬額等の環境を整えることも重要と考える。

議員報酬を減額するより、議員定数を削減し近隣町村と比較しても適正な議員定数に近づけるべきであり、その方が町民の理解及び支持を得やすいと考えるが、町長の見解を伺いたい。

答 町 長

議員定数の削減については検討していない。

行政懇談会において、議員定数に関する意見もあったが、多くの声があったとは記憶にない。議員定数の削減については検討していない。

	議員定数	議員1人当たりの人口
嘉手納町	16人	861人
北谷町	19人	1,479人
読谷村	19人	2,138人

※平成26年4月現在。外国人住民は除く。



安森 盛雄

問1 基地内大学メリーランド大学との留学制度が図れないか

問 生徒への支援として、身近にある基地内大学(メリーランド大学)への短期留学制度が図れないか。

答 教育総務課長
実施していない。

基地内大学はあくまでも大学ということで、小中学生向けの講義、プログラム自体が無いという事です。

問2 外語塾卒業生の 人材活用について

問 過去3年間の年度ごとの塾生の数(入学時と卒業生)と事業費は。

事業費

H23 年度	3,094 万円
H24 年度	3,724 万円
H25 年度	4,069 万円

塾生の数

	入学時	卒業時
H23 年度	13 人	11 人
H24 年度	12 人	8 人
H25 年度	13 人	12 人

答 教育総務課長

問 過去3年間の卒業後の就労状況と行政支援は。

答 教育総務課長

大学進学・専門学校就職・留学希望。

議員のおっしゃるとおり静観

しては塾生の希望する進路を確定することができないのも事実であります。よって、進路

決定のための個人面談、保護者

を交えての3者面談で進路に関

する相談等を行なっている。駐

留軍等労働者、労務管理機構の

労管から基地内雇用に関しての

手続きの説明を外語塾にて受け

ている。



問 卒業生の中から成績が優秀な塾生を優先的に町職員として採用することができないか。又は、語学力を必要とする企業に対して町から推薦することができないか。

答 教育総務課長

考えていない。

語学力を必要とする企業に対し、外語塾のパンフレットを送付するなどを行い、周知を図っていく。推薦についても行っていく。

問 塾(事業)の目標としている達成度(事業効果)とは何で示されるのか。

答 教育総務課長

達成度については、各種検定試験の取得目標達成があげられる。事業効果としては、卒業時の進路の確定状況で示される。

問 英検やその他資格取得への報奨金制度について適切だと思えますか。

答 教育総務課長

現状は適切だと考える。

必要額としては社会情勢等も踏まえる必要がある、今後も必要に応じ検討を加えていきたい。

問 町観光案内ガイド養成の新事業があるが、外語塾の卒業生を活用することができないか提案します。

答 教育総務課長

取り組んでいく。

観光案内ガイド養成が今後、設置されるのであれば、カリキュラムに取り組んでいく。

問3 生活保護世帯者が 病氣したときの対応は

問 (1) 国民健康保険は。

(2) 通院する場合の対応は。

答 福祉課長

(1) 国民保険加入者が生活保護受給の決定を受けた場合は、資格喪失の手続き及び国民健康保険証の返却が必要となる。

(2) 通院する前に福祉課窓口で保護変更申請書、傷病届けを記入して診療依頼書を発行する。

問 カード等の発行ができないか。

答 福祉課長

毎年6月頃に中部福祉保健所と管内町村、生活保護事務担当者連絡会議が行なわれ、カード化の提言を行なったが保健所からは難色を示された。

問 地域の方からの相談等は年間で何件あったか。

答 福祉課長

要望等の申し入れは無いと聞いております。

問 関係者から1件も無いんですか。

答 福祉課長

直接窓口での要望はありません。

問 私は、民生委員から役場で相談があったんです。

記録が残っていないというのは如何なものか。弱者の声が届かないということで理解しているのですか。町長にお伺いします。

答 町長

町民から寄せられた声は、職員レベルでとまっているのであれば、改善し、適切に対応していく必要がありますので、周知徹底を図りたい。



宇榮原 京一

問1 住宅用火災警報器設置 の普及啓発の強化を

問 本町の住宅用火災警報器の設置状況について伺う。

1 本町の住宅用火災警報器の設置世帯数を把握されているか。

2 本町の満65歳以上の一人暮らしの世帯数、高齢者のみの世帯数、障がい者を抱える世帯数は。

3 平成23年度に満65歳以上の高齢者のみの世帯や障がい者世帯へ、無料で住宅用火災警報器の設置助成を行いました。設置世帯数と金額は。

4 現在では、高齢者及び障がい者の日常生活用具給付事業の中に整備されており、高齢者のみの世帯及び障がい者世帯の未設置世帯の件数と今後の普及啓発はどのように。

5 今後、本町の普及促進に向けた取組の中で、65歳以上の高

齢者を抱える世帯にも何らかの助成処置が図られないか。

答 福祉課長

1 2379世帯が設置済み。

2 平成26年3月31日現在、65歳以上の一人暮らし804世帯、高齢者のみ360の世帯、障がい者を抱える763世帯。

3 設置447世帯。1009万4154円。

4 高齢者のみの世帯及び障がい者465世帯が未設置と推定。パンフレット、ホームページ、広報かでなを活用。相談支援事業の中でも周知する。

5 現在の所、助成措置は考えていません。

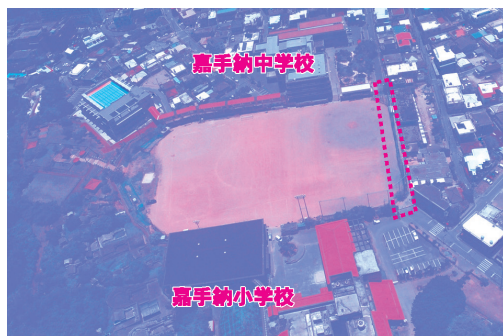
問2 嘉手納小学校から嘉手納中学校間の道路の接続は

問 過去に、町道74号線と町道35号線を接続する道路計画案が作成されたが、今後の展開について伺う。

1 いつ、どのような目的で計画案が作成されたのか。

2 当時、道路計画は隣接する嘉手納幼稚園の移転計画に伴い、その跡利用との整合性を図

る必要から関係部署と調整しながら進めるとあるが、嘉手納幼稚園の移転計画も決まり今後どのように考えるか。接続計画は。



嘉手納小学校と嘉手納中学校の間

答 都市建設課長

1 平成18年1月に都市マスタープランの中で、接続する案を图示したが現実的に困難。平成23年に概略設計案の中で周辺は学校施設が多く、災害時の避難場所として位置づけられ各施設へのアクセスの利便性、通学路の安全面に問題があるとして作成された。

2 嘉手納小学校敷地等配置計画策定作業において、歩道は連結し、車道部分は車両止め等をする案を委託業務の中で検討していく。

問3 町民の健康増進にパーク ゴルフ場の建設を

問 町民の健康増進を図るため、嘉手納スポーツドーム北側の多目的広場を利用してパークゴルフ場の建設が出来ないか。

1 以前にも町民からの要望等はなかったか。

2 過去にも嘉手納スポーツドーム北側の多目的広場を利用して整備を行うと、お聞きしたのですが、その後の状況は。

3 一括交付金を活用して早急にパークゴルフ場の建設を求めが見解を伺う。

答 教育総務課長

1 平成22年に東区審議員の連盟で防衛施設局保有の土地利用の要望はある。

2 現在、防衛省補助にて多目的広場として整備されていることから目的外変更となり返納金が発生する為、計画は保留となっている。

3 一括交付金の目的を達成する施設整備は出来ないものと考ええる。

問4 パブリックコメント制度の 積極的な活用を

問 パブリックコメント制度の活用をどのように考えるか。

1 これまで行ったパブリックコメント制度回数は。

2 第2次嘉手納町土地利用基本計画の見直し案に関するパブリックコメントの募集がありました。提出者数と告知は。

3 募集に当たって、町民にとっても理解しやすい内容で掲載する必要がありますが。

4 今後パブリックコメント制度をどのように考えるか。

答 企画財政課長

1 嘉手納町地域防災計画と嘉手納町土地利用基本計画の2回。

2 提出者は、1名。町内全域への意見提出用紙の配布、ホームページ、各区コミュニティセンター及び企画財政課に資料を設置を行っている。

3 計画内容の要点を住民にわかりやすく伝える工夫が必要であると考えます。

4 町民参加の手法のひとつとしてパブリックコメント制度を活用していきたいと考えます。



照屋 唯和男

問1 再開発駐車場を問う

① 再開発事業時に計画されていた再開発駐車場の当初の使用目的、条件、対象者は。

① 建設部長

事務所及び店舗への来客用、条件は特別無い。対象は残留権利者の取得した施設又は、資産運用する施設への来客者のために整備、現在は町民の利便及び地域の商工業の活性化に資する運用。

② 満杯状態の時に町がとってきた対策は。

② 建設部長

管理方法として人的配置を実施。限度あり理想的な管理でできなかった。町職員も直接現地に赴き指導しながら対応。

③ 機械式管理の提案されているが、業者選定の方法、メリット、

そのメリットを維持する方法は。

③ 建設部長

業者選定は、指名競争入札。メリットは、24時間有効活用が図れる、管理運営は、リースで提案されている条例改正で管理上不都合なことが起きた場合や現状と何ら変化がない場合には短期でも見直しできるか。

④ 建設部長

見直し考える。但し、条例の一部改正が伴うので、状況を見て慎重に対応する。

⑤ 機械管理は、残留してきた権利者の方々は理解し納得する状況か。

⑤ 建設部長

アンケートを求めて、取りまとめた結果、約8割の方が機械設置、現在考えている計画に対し理解を得られている。

問2

嘉手納町観光振興基本計画の重点強化プロジェクトの1つ、道の駅かでのリニューアルは

① 施設来訪者1人当たりの売り上げ単価とレジ客数の単価は平成25年度で幾らか。道の駅許田と恩納の道の駅との比較は。

① 産業環境課長

道の駅かでの来訪者数、平成25年度52万4000人、レジ客数、27万人。年間施設内店舗売上総額、2億6578万3000円。来訪者1人当たりの単価、506円。レジ単価、980円。

② 名護市道の駅許田。来訪者数、平成25年度が186万人。レジ客数、7万7000人。年間の施設内店舗売上総額並びに来訪者1人当たりの単価、レジ単価については非公開、情報がとれない。

③ 恩納村の恩納の駅、来訪者数が平成25年度80万人。レジ客総数が平成25年度40万人。恩納の駅においても年間店舗売上総額、来訪者1人当たりの単価、レジ単価については非公開で情報がとれない。

④ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

⑤ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

⑥ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

⑦ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

⑧ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

⑨ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

⑩ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

⑪ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

⑫ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

⑬ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

⑭ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

⑮ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

⑯ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

⑰ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

⑱ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

⑲ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

⑳ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

㉑ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

㉒ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

㉓ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

㉔ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

㉕ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

㉖ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

㉗ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

㉘ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

㉙ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。

㉚ 嘉手納の道の駅と他の道の駅と比較した状況は。



現在の道の駅

実施設計を行い、その後、施設建設工事等、外構工事、周辺の駐車場工事も含め、その後、建設工事に着手する。

問3 町営水釜第2団地を問う

① 建てかえの計画があるか。

① 都市建設課長

海岸部に近いことから、塩害等による躯体構造上問題がないか、公営住宅機能低下判定調査などを行う。

② 町営団地の建設計画の場合は、高層計画か。

③ 都市建設課長

戸数、費用対効果等を勘案して高層化を検討する。

④ LEDとか、太陽光の発電システム計画は。

④ 都市建設課長

地球温暖化とか、公共施設の背景もありますので建てかえる場合は検討する。

⑤ 海岸線の防災の観点から、避難タワーなりも含めた考えは。

⑤ 都市建設課長

水釜高層住宅、近くのイコモミバンタ高台が津波避難場所に指定されておりそれらも勘案して、総合的な検討する。



仲村 兼 栄

問1 貸出用AEDを 早急に導入を

問 本町のAEDの普及は他市町村と比較しても一番充実している町であります。しかし、取扱い受講者が少ないのも課題です。

心臓が停止し4分間以内で脳障害が発生すると言われ、心臓マッサージや人工呼吸を始める脳障害を遅らせることができ心臓リズムを正常に戻すためには、AEDを加えることで社会復帰の身体に結果が出ます。

町民の団体・児童生徒等が研修会等で町外へ出かけた場合の救命措置として、貸出用のAEDを導入することで、出先での事故等に対処できる施策であります。そこで一括交付金を活用し貸出用AEDの導入の予定は。

答 総務課長
早急に対応します。

貸出用AEDを導入すること
で救命講習会に関心を持つて
思う。一括交付金ではなく一般
財源で早急に対応したい。



町役場内設置のAED

問2 スポーツ振興 ビジョンの策定を

問 国のスポーツ振興計画に基づき、①「町民のスポーツライフに着目したスポーツ振興」②「まちづくりに着目したスポーツ進出」③「嘉手納町らしさに着目したスポーツ振興」の3点を視点にハードウェア・ソフトウェア・ヒューマンウェアの3つの領域の施策の方向性をまとめる必要があると思う。

国のスポーツ基本計画との整合性から教育委員会の見解は。

答 社会教育課長
方向性を見出した。
沖縄県スポーツ推進計画との

整合性を図りながら策定につ
ての方向性を考える。

問3 屋良小学校児童数の 減少の原因と課題は



屋良小学校

問 屋良小学校の児童数が毎年減少していく中で、教育委員会のこれまでの対策について伺う。

答 1 生徒数減少の理由は。
1 全国的な少子高齢化の社会現象に起因すると思われる。
2 その対策は。

2 小中の給食費の全額無料化と教材費の一部助成と中学校までの医療費無料化を行っている。
3 屋良町営団地入居者で、新児童生徒の転校生の数は。

3 2世帯の4人。
3 町長

検討する必要がある。

児童数4人という人数を含め住宅不足問題は、本町の大きな課題であり、引き続き議会と一緒に事業政策として検討したい。

問4 定住促進を図れ

問 マンション購入・アパート建設の家主に対して5年間の固定資産税の減免の予定はないか。

答 税務課長
現時点では予定してない。

問5 新1年生児童定住者へ 助成を図れ

問 就職・結婚・出産をきっかけに、住み替えを考えたときに、本町の子育て支援策は充実しているにもかかわらず、町外へ転出を余儀なくされているのが現実である。助成金を導入することで屋良小学校の児童数の減少解消に繋がる施策であり、東部地区(屋良)開発と子育て支援策の更なる発展が期待できる。

屋良小学校に来春新1年生と

して、入学予定の児童がいる世帯への助成制度を図り、子育て世代の定住を促進するために助成ができないか問う。

答 教育総務課長
屋良小学校に特化した助成は考えてない。

問5 道の駅に大型オーロラ ビジョンの設置を

問 過去(平成24年12月定例会)に一括交付金を活用し、道の駅に大型ビジョン設置の一般質問を行いました。

その後どのような協議が行われたか。

答 産業振興課長
調査研究は中断し検討は行っていない。

問 道の駅に大型ビジョン設置の予定は。

答 産業振興課長
その必要性を議論していき



静かに時を待つ寄贈泡盛たち

問 400年祭開催時に、町内外の多くの人々の善意で集められた寄贈泡盛。次の時代への資産として継承し、百年古酒づくりをめざす事業。「450年祭その時、古酒と自分は、どうなっているのか」と泡盛片手に想いを語る町の人々にホットな話題提供を。

問1
400年祭の寄贈泡盛は今どこに眠るのか「広報かでな」で、ホットな話題提供を



金城利幸

答 産業振興課長

町民の皆様は「寄贈泡盛の活用状況や現況」を広報して行きたい。

甘藷伝来400年祭時に1081本の寄贈があった。記念事業終了後で、728本。

内450本は450年と500年祭までの保存用で管理。残り祭りの例祭時に使用。詳細は、町民の皆様は「寄贈泡盛の活用状況や現況」として広報して行きたい。

問2
水釜歩道の通路妨害や環境美化を損なうプランターの撤去と環境改善対策を

問 この環境改善についての問題提起は、3月定例に続くものだが、実質は、七年前から地域の声として「水釜通りの歩道改良で歩行者の安全と環境美化を急げ」としての関連事業である。

行政は早い時期に車道を含めた全体的な改良を事業化したいとしているが、その前に、すぐ出来る事の改善対策の一環としての提起である。

- ①プランターの地区別個数
- ②安全性が問題の箇所と対策



プランター撤去で安全と衛生が整備された(南区～西区の水釜通り)

③ 行政当局の現状認識は危険箇所の点検マニュアルを

答 産業振興課長

ご指摘の支障になる水釜通りの22個は今回で撤去した。

①西浜区

中央区

北区

ロータリー

サンエー前

屋良小前

東区

②南区～西区(水釜通り)

今回(6月9日)にて

23個中22個は撤去した

答 都市建設課長

マニュアルの再整備充実を。

③パトロール点検マニュアルの再見直しで充実を図って行きたい。

問3
行政と議会の円滑な業務運営に適時かつスピーディーな行政情報の提供を

問 議会として理解と判断に時間を要する事案など、多様な事案を含め、適時かつスピーディーな資料・情報の提供で行政と議会関連業務の円滑な仕組みづくりを提案する。

答 総務課長

先決処分事案情報は、事前に提供するよう努めたい。

これまで議会招集する時間的いとまがない場合、やむを得ず先決処分を行い、後に最初の議会で報告し、議会の承認を得ている。今後は、先決処分事案情報は、事前に提供するように努めたい。

答 町長

ご提案を戴いて、今後も随時改善し、対応していきたい。

短期間での議案提案や一般質問を含め、是正をしてもらいたいこと、あるいは要望提案を受けて、今後も随時改善を行っていききたい。

問4
パワハラ等排除と打たれ強い人間形成で心身共に健全な職員の環境づくりを図れ

問 団塊世代の大量退職と、次世代が抱える新たな時代の業務の変化と増加。心身共に打たれ強い、健全な職員の環境づくりで、町民サービスを。

答 総務課長

①職員数々臨時・嘱託員数

②職員が年齢別構成と課題は

③行政資料・情報提供の随時対応システムの構築を

④パワハラ等、職員の心身の健康状況のチェックと保全機能の強化で町の健全経営を

⑤職員数々臨時・嘱託員数

⑥職員が年齢別構成と課題は

⑦行政資料・情報提供の随時対応システムの構築を

⑧パワハラ等、職員の心身の健康状況のチェックと保全機能の強化で町の健全経営を

⑨職員数々臨時・嘱託員数

⑩職員が年齢別構成と課題は

⑪行政資料・情報提供の随時対応システムの構築を

⑫パワハラ等、職員の心身の健康状況のチェックと保全機能の強化で町の健全経営を

⑬職員数々臨時・嘱託員数

⑭職員が年齢別構成と課題は

⑮行政資料・情報提供の随時対応システムの構築を

⑯パワハラ等、職員の心身の健康状況のチェックと保全機能の強化で町の健全経営を



古謝 友義

問1 平和メッセージ展を 全町民参加型へ

問 毎年文化センターで開催される平和メッセージ展は、年々力作が登場し平和学習の原点になる事業である。

1 子供たちの作品募集手続き方法は統一されているか。

答 基地渉外課長

毎年、作品の募集が始まる前に学校長会及び教頭会において作品展の趣旨、応募方法、募集期間等について説明を行っている。

2 表彰式の案内周知方法は。

答 教育指導課長

一般の方への周知は広報かなへ掲載している。

3 新規事業を取り入れる予定は。

答 基地渉外課長

作品展示を行う中で検討していきたい。

4 各クラスによって応募した数に開きがあるがその対策は。

4 教育指導課長

現在、表彰は最優秀賞、優秀賞、佳作であり応募したが何もないでは子供たちのやる気を阻害していると思われる。今後は参加賞、応募賞等を増やしていきたい。

問2 商工事業者借換資金の 新設を

問 町内中小企業の借換えを行うときに、「商工業者借換資金」の新設の予算化ができないか。但し、借入残高が、借入時の4分の3以内になっていることを条件とし、信用保証協会の保証を取り付けし、融資期間は6年以内(据え置き期間1年)で、利率は年1%とする。

答 産業環境課長

県内市町村においては、中小企業事業者にに対し、借換の貸付融資支援制度を設けているところはありません。また町内商工業者に対する支援制度であることから町商工会とも協議を行ったが、現在実施している市町村がないことから、制度の実績や事

業効果等の情報がないことから今後も調査を継続していきたい。

問3 道の駅に、 レンタルサイクルを

問 観光客がバスで来て、レンタカーで来て、道の駅の展望台へ上って、基地を見て去っていく。年間60万人の来場者がいて、わずかな時間しかない。滞在型の観光を目指すには、町内をくまなく見ていただく事が前提だと思います。前回はカヤック観光を提案しましたが、今回は自転車です。名付けて「幸せの黄色い自転車」です。コースは道の駅を起点とし、運動公園、町民の家、比謝川遊歩道、兼久海浜公園、町内いろいろ、屋良城跡公園、道の駅へ帰ってくるというコースです。また町民の家へは一般の自転車では無理です、一括交付金を活用して、ぜひとも電動自転車を購入してください。今後町の観光の目玉にしては。

答 産業環境課長

道の駅かでなへのレンタルサイクル及び電動自転車の購入に

については、観光資源をつなぐアクセスの利便性、駐車場不足の問題、滞留時間の延長といった観光に関する本町の問題を改善する有効的な手段だと考えています。嘉手納町観光振興基本計画においても、歴史、伝説的名所である屋良ムルチ一帯へのアクセス方法として検討が示されており、今後、町内の全域の名所旧跡として位置づけられる観光施設へのサイクリングルート of 安全確保や施設整備などの課題を検証しながら検討していきたい。

問4 町道の改善を

問 町道埋立1号線旧日本ペイント前の道路は階段状になっており、堤防へのアクセス道であり町内外から多くの人が訪れる観光スポットになっている。しかし町道の陥没がひどく雨降りの後は、通行にも支障が生じている。改善の予定は。

答 都市建設課長

町道埋立1号線はサンセットが眺められ、町内外から多くの人が訪れる場所です。当該路線は老朽化しており、今後整備す

る予定であります。しかし、雨降り後には水がたまることも確認してしますので、暫定的にでも排水が出来るようにしたい。

問5 沖縄一長いベンチの設置を

問 石川県志賀町の増穂海岸に全長460・9メートルの日本一長いベンチがあります。日本一のベンチは観光のメッカであり県内外から多くの人が訪れています。町内では数少ない歩道から堤防へ上り海に入ることが出来る場所が水釜地区にあります。そこは週末ともなるとダイバーが多くなり、また夕方はサンセットがきれいで町民の憩いの場所です。一括交付金を活用しその場所に沖縄一長いベンチを設置する予定はないか。

答 都市建設課長

この場所は、町内外から多くの人が集まる場所です。しかし堤防は県の施設であるため、その利活用については県と調整する必要があります。

答 建設部長

観光スポットとして沖縄一のベンチがメッカになるようだと県と協議して検討していきたい。



知 念 隆

問1 公共施設にLED照明 の導入を図れ

問 地球温暖化の防止、さらに行政コストの削減を図るため、公共施設へのLED照明の導入を進める自治体が増えています。うるま市では平成26年度から自治会の防犯灯をLEDに取り替える費用として、照明1基当たり45000円を補助することとしています。LEDは電気消費量が少ない上に寿命が長いのが特徴です。地球温暖化の主な原因と言われているCO₂の大幅な削減が期待できる照明です。本町においても早期導入する必要がありますので次の3点を伺います。

1 本町庁舎とロータリープラザの年間電気料はいくらか。

2 LEDの導入は初期費用が高額なのが難点ですが、初期費



LEDの導入で光熱費の削減が期待できる公共施設

用の少ないリース方式で導入できないか。

3 町営住宅の外灯をLEDに取替え団地住民の電気料負担を軽減してはどうか。

答 総務課長

平成25年度の年間電気料は庁舎・文化センターが2275万円、ロータリープラザは1850万円です。今後新しく建設される公共施設については当初からLED化していくものと考えます。今後、全部一挙にとはいきませんが、老朽化した照明は取替えの際、LEDを採用したい。リース方式の導入は現在、考えておりません。

答 都市建設課長

現在の灯具はLEDに対応できませんので、灯具が劣化や故障など、取り替えを要する時点でその都度LEDに切り替えていきたい。

問2 待機児童の現状と解消策、 認可外保育園に対する支援は

問 本町においても子育て支援策を充実させ、子育て世帯を増やすことは町の将来にとって大変重要な事だと考えます。そこで次の3点について伺う。

1 平成26年度の待機児童は何か。

2 認可外保育園の認可促進に向けた町の取り組みは。

3 待機児童の受け入れ先になっっている認可外保育園に対し、保護者の負担軽減などの支援を拡充する考えはないか。

答 子ども家庭課長

1 平成26年度の待機児童数は27名です。

2 「こども・子育て会議」及びニーズ調査により、子育て支援計画策定に向けて準備を進めています。嘉手納町に認可保育園がもっと必要かどうか、現在の利用状況に今後の利用規模などを勘案していく予定です。

3 各市町村で実施している沖縄県の補助以外に嘉手納町は独自事業として町内在住のお子さんに対し一人当たり5千円の教

材費や環境整備事業として一人当たり1万円の助成を行っています。

保護者の負担軽減については幾つかの市町村が実施しているので本町において、どういう形で負担軽減ができるのか検討していきたい。



公的支援のさらなる拡充が求められる認可外保育園

問3 各種イベント等の記録映像を 集約一元化し、町民に公開で きるシステムづくりを

問 本町が主催している祭りやイベント、学校の運動会などで撮影された記録映像の管理や活用状況は。

2 町の所有している記録映像

を図書館で映像ライブラリーとして集約一元化し視聴を希望する町民にいつでも公開できるシステムを構築してはどうか。

3 町が収録した記録映像をDVDにして町民に販売ができればいいか。

答 中央公民館長

1 これまでに撮影された各種イベント等の記録映像は主に主催者側、主管課で保管されています。

2 集約一元化のためには、それぞれの部署の聞き取りや承諾が必要になります。記録映像については保管に適した場所の確保、管理担当者の配置、管理機器などの整備が必要になります。記録映像の町民への公開については記録映像に映る個人や団体に対し公開についての説明と承諾、許可する内容と範囲など、公開可能かどうかを判断しなければなりません。

3 記録映像に映る人や団体の特定や調整など検証すべきことが多岐にわたり、短時間での実現は困難であると判断しております。今後、関係者間や専門家の意見を踏まえ、十分な議論が必要であると考えます。



奥間 常明

問1 嘉手納弾薬庫地区内に 沖縄一のメガソーラシ ステム設置を

問 米軍航空機騒音に伴う住宅防音工及び空調機器設置による電気使用料金の負担軽減策として太陽光発電システム設置工事が一部地域においてモニタリング事業として行われその後は凍結状態にある。

これは、公平補償の見地からも問題視され、機渡となく国に対して要請してきたが電力会社等困難な問題があるという理由で現在にいたっている。

十数年が経過し、未だ事業再開のメドも立たず、この際新たな事業を模索する段階にきているそうであれば、メガソーラを設置して全世帯の電力需要に対応することで経済的負担軽減策と地域温暖化対策にも繋がる。



所在地：嘉手納町、うるま市、
沖縄市、恩納村、読谷村
面積：2,657.9 ヘクタール
(嘉手納町域 347.9 ヘクタール)

答 基地渉外課長
防衛局に問い合わせたところ、配電系統に電圧上昇等の悪影響、パネル設置が困難な住宅等あらゆる問題点を総合的に検討し判断していきたいとの回答でした。事業再開については毎年防衛省要請でおねがいしている。

メガソーラ設置については、提施設地域内の一時使用で正規の使用目的にとつて有害でないことが合同委員会を通じて、両政府間に合意された場合において、一時使用が認められる。

今後、嘉手納町から具体的計画が示されれば米側に対して意向照会を行うことは可能である。しかしながら、町としては設置場所、費用対効果等考慮しますと実施は困難と考えています。

問 町の東の玄関口として更に道の駅に隣接し多くの観光客の目に入る地帯として現状はイッペーの木も多くが倒木、立ち枯れし雑草がおい茂げ荒蕪地化しイメージダウンもはなはだしいかぎりである。

問2 県道74号線沿い基地内 緑地帯(フェンス沿い)の 環境美化・植樹を

問 町民は日常的な殺人的航空機爆音に苛まれ続け尚且つ防音対策の対価として高い電気料金を払わざるを得ない。

太陽光発電が困難であれば、国に対して電気料金助成を要請すべきだ。

町長の見解を求める。

答 町長
防音の維持費、特に住宅のクーラー維持費関係は、これまでも要保護、準要保護世帯以外にも継続して要請している。太陽光発電についても進んでない状況であり、そうであるならば各世帯の電気料補助を行うべきだとやってきましたが、今回の質問を腰をいれて要請していきたいと思っています。

問 早急なる対策を講じ、水釜・大木線と交わる町道において他に嘉手納漁港向け交差点も学校向け車両が同様な状態にあるので要望する。



交差点内で立往生する車両

問3 水釜・大木線(旧ホット スパ)付近交差点の 交通対策を

問 渋滞時交差点内での立ち往生が頻繁に発生し横断したい車両が大変不便をきたしている。

往状が頻繁に発生し横断したい車両が大変不便をきたしている。

答 基地渉外課長
沖縄防衛局を通して第18航空団に対し緑化美化の対策を施すよう申し入れた。

答 総務課長
同交差点は、多くの町民の皆様が横断歩道、信号機設置の場所で交通指導等をしていることから、割り込みによる交差点に強制的な進入はほとんどみられませんでした。

付近は、歩行者、運転者に対する注意を促がす立て看板も多く立てられており、今後交通安全に寄与していきたいと考えております。



新垣 貴人

問1 町内の十字路の交通安全対策は

問 道路行政の担当課は町道の管理責任を担っている以上、事故が起きる前に想定される最大限の交通安全対策を講じる行政上の責務がある。そこで交通安全対策について、4点伺う。

1 現状でどの程度、事故の危険が危惧される十字路があるか。

2 町民から問題提起のあった箇所に対する対応は。適切に行われているか。

3 町民住宅から社会福祉センターへ向かう十字路は見通しが悪く、車両、子どもの自転車の飛び出しが頻繁に見受けられ危険だ。早急な安全対策を。

答 都市建設課長

1 交差点での事故は町域全般で発生しており比較的、交通量の多い交差点での事故が多く発生している。危険と思われる十字路の詳細なリスト等は作成していないが今後、整備していく。

2 定期的に町道パトロールを実施。危険箇所には速やかに対処している。問題提起があった際にも早急に現場確認を行い、速やかな対処を心がける。

3 注意看板の設置などを検討する。

問2 嘉手納陸上競技場へ向かう階段の安全性の向上を図れ。

問 老若男女を問わず、利用されている嘉手納陸上競技場だが、ドーム側の駐車場から陸上競技場へ降りる為の階段は急な傾斜だ。今では階段を降りる時につかまる手すりは付いているものの、階段の上から下までは結構な高低差があり、下にたどり着くまでに相当な距離がある。この施設は、老若男女問わず来場される。御老人や子ども達が利用しやすいように工夫や改善を図っていただきたいことから3点、伺う。

1 階段の傾斜は何度か。傾斜による危険性の認識は。

2 過去に負傷者の有無は。また町民、関係者から利用に際して危険、不安との意見や改修を求める声は。

3 嘉手納スポーツドーム側の駐車場から陸上競技場のスタンドへ渡れる渡り廊下的な架け橋の建設を。

答 社会教育課長

1 傾斜角度は30度。一般的な建物の階段と同じ傾斜だが、階段は42段あり8メートルの高低差がある。その高低差なのに踊り場がないことから利用者が危険性を感じているということは認識している。

2 けが人の報告はない。施設利用者からは階段を降りるのが不安、恐いという声はある。

3 架け橋の建設は構造的な問題、利便性、費用対効果について慎重な検討が必要。現状の対策として階段途中に踊り場を設置し危険性の軽減を図りたい。踊り場設置の工事は早急に予算措置をして、まずは設計から準備していく。

問3 うたの日コンサートの経済効果は

問 うたの日コンサートは、今年で既に14回目を迎える。出演者、来場者は県内外を問わず、多くの皆さんがうたの日を楽しんでいる。昨年度に引き続き、今年も本町での開催が決まった。町民のコンサートに対する期待はもとより、来場される方々からの経済効果が期待されている。そこで5点伺う。

1 本年度の総事業費は。本町の補助金額は。

2 昨年度の集客と経済効果は。また改善点は。

3 本年度の集客予測は。

4 飲食、警備など、町内で賄える受注は町内業者へ発注を。

答 産業環境課長

1 総事業費は4300万円。町からの補助金は800万円。

2 主催者発表で8000人。チケット販売数は5028枚。経済効果は町内商工業者による出店やスタッフへの弁当販売があり、売上高は約330万円。改善点は集客が目標に未達成の為、来客数や売上金が予想を下回っていた。主催者側と集客に向け協力体制を図る。

3 集客目標を一万人に設定。

4 町内で対応可能な業務発注

問4 飼い猫、野良猫から派生する被害への対策を

問 ペットを飼っている人達にとってペットは生活に喜びを与える家族同様の大切な存在だ。反面、町内には飼い主がいない野良猫も多数存在しており、その野良猫によるふん尿被害も発生している。公衆衛生美観の観点から2点、本町の見解を伺う。

1 野良猫に対する餌づけはかつて不幸な猫を増やす。条例、もしくは規則を制定させ、餌づけ禁止の徹底が図れないか。

2 条例、もしくは規則を制定させ、飼い猫や野良猫への去勢費用の一部実施ができないか。

答 産業環境課長

1 本町で現在、条例の制定はないが何らかの対応策を講じる為、関係機関への情報収集と調査を進めていく。

2 去勢費用の一部助成については実施している機関を案内しているが、現在のところ町単独での助成は考えていない。



石嶺 邦雄

問1 チャレンジデー への参加を

問 近年、生活習慣病患者の増加や高齢化社会の進展等により医療費の増加は財政を圧迫し、町民サービスの低下や地域社会の活力を損なう要因ともなっています。健康づくりは今や個人の課題であるだけでなく、社会的課題でもあります。毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民参加型のスポーツイベントチャレンジデーをご存知でしょうか。年齢や性別を問わず、誰もが気軽に参加でき、住民の健康づくり、スポーツ振興、地域の活性化のきっかけづくりに最適なスポーツイベントであります。お隣、読谷村では4年連続参加なっているそうでありますが、我が町では参加を考えてないのか、お伺い致します。

1 今までにチャレンジデーへの参加は検討されたか。また、なぜ、1回も開催されていないか。
2 今後、参加して対戦相手との勝負だけでなく、町内の自治会同士を競わせて、自治会対抗も含めて意識を持たせて参加してみては。

答 町民保険課長

1 チャレンジデーは笹川スポーツ団体が主催する住民総参加型スポーツイベントとして開催されており、地域の活性化を目的として同規模の市町村と住民参加率を競うものであります。県内では読谷村など5市村が参加をしており、参加率は6、7%であります。本町におきましては、これまで参加については検討されていませんでした。本町においては町民ウォーキング大会を始めとして、新春マラソン大会、スポレク大会等、町民の皆様がスポーツに親しむ機会が充実しております。チャレンジデーにつきましては住民参加率の平均が50%と、住民全体を巻き込んだ規模の大きいイベントであり、町内の団体だけ

でなく、町内企業などの協力が必要であればできないものだと認識をしております。実施にあたっては町内全団体を網羅して、実行委員会結成が必要であります。各団体の意見も拝聴しなければならぬものだと考えております。

2 町内の自治会同士を競わせて、自治会対抗も含めて意識を持たせて参加してみてはとありますが、まずは自治会長会において各自治会長の意見を聞いてみたいと考えております。

問2 野國いもつちの アピールを

問 近年のゆるキャラブームよりも先駆けて、二〇〇五年の野國總管四〇〇年祭イメージキャラクターとして作られた野國いもつちも十年近くになりますが、まだまだアピールが足りないと思います。今後いろいろなものを活用して発信できないか、お伺い致します。

1 現在、全国的にご当地(市町村)の特徴、観光宣伝として、原付バイクのナンバープレートに町の花、ゆるキャラをワンポ

イントで導入する地域が増えてきておりますが、我が町でも野國いもつちをナンバープレートに活用してみては。

2 皆さん、日頃のスケジュール管理として手帳を利用しているかと思いますが、中でも県民手帳などいろいろなものがあります。我が町独自の情報を含めた嘉手納町民手帳(野國いもつち手帳)を商工会とタイアップして作ることが出来ないか。

答 税務課長

1 ナンバープレートの導入状況は、全国でも広まっており、県内では沖縄市、南城市、西原町、南風原町の2市2町において導入されております。市町村をPRし、観光振興、地域振興に資する事を目的に導入が進んでおり、今後も導入市町村が増える傾向にあります。本町においても議員提案の野國いもつちを含め、導入について前向きに取り組みたいと考えております。

答 企画財政課長

2 野國いもつちを広くアピールする目的で町民手帳を作成することにつきましては、現在、超商工会で行っております嘉手納元氣プロジェクト事業の中で、

町民の需要度や事業効果、継続性事業主体、仕組みづくり等を調査、研究し、必要性を検証すべきものと考えます。つきましては、現時点で手帳を作成することについては考えておりません。

3 自分の提案は嘉手納オリジナルの手帳で、通常の一月で始まり十二月で終わるタイプではなく、学校、役場の会計年度に合わせた四月スタートで三月で終わるタイプで、町内行事、ゴミ出しの仕方、町内各施設の連絡先等、たくさんの方の情報を凝縮した手帳ですけど、検討できませんか。

3 今後、各種団体等にもそう言った呼びかけをしてみ、検討をしてみたいと思います。



県内ご当地ナンバープレート



奥間 政秀

問1 学校給食共同調理場の進捗状況は

問 平成23年度よりスタート

した学校給食費全額助成も4年目に入り、広く町民に支持されています。今年度いよいよ町の学校給食共同調理場実施計画がスタートし、ハード面での計画が進んでまいります。将来、長きに渡り活用される立派な施設になると期待をしております。そこで伺います。

1 学校給食共同調理場民間委託検討委員会の現状は。

2 ワークショップを開く予定があるのか。

3 新調理場完成後、機材・器具・食器などの備品の扱いは。

答 教育総務課長

1 民間委託検討委員会については、委託の前提となる新調理場の建設が確定しなければ、本

格的な議論が行えないとの意見があり、新調理場建設のめどがたつまで休止としておりました。今年度から建設に向け、本格的な作業に取り組むこととなりましたので、来月7月をめどに会を立ち上げ議論を行いたいと考えております。

2 一般的な公共施設のようなワークショップの開催にはなじまないと思われ、現在考えておりません。

しかし、関係者でアレルギー対応の内容を検討する会議を立ち上げ、できるだけ意見を聞いたうえで、対応については考えていきたいと思っております。

3 現調理場で使用、設置されている機材、器具、食器等については、新調理場において使用可能なものは移動移設し、使用する予定であります。

問 町が掲げる3R、Reduce (リデュース)、Reuse (リユース)、Recycle (リサイクル)

という中で、貸し出しマニュアルなどを作成して、広く町民に貸す出すことはできないか。

答 教育総務課長

今後内容を見ながら検討させていただきたいと思っております。

問2 町民駐車場の拡充を

問 利用者(企業・商店街顧客)と駐車場の利用現状の調査は行っているか。

答 建設部長

再開発駐車場につきまして、アンケート等も実施しながら調査も行っております。ただ全体的な調査につきましては、まず嘉手納警察署前につきましては、8時以降、5時まではほぼ満杯の状態であります。それから東駐車場につきましては、台数が結構広範囲にわたって、300台余りありますので、そこは十分空きがある状況になっています。

問 役場駐車場内に立体駐車場など駐車スペースの増設はできないか。

答 都市建設課長

立体駐車場につきましては、その必要性について、十分な検討をしなければならないと考えております。東駐車場にまだ駐車できるスペースがあります。絶対数が不足し、平面ではさばききれないという状況になった場合、立体化も視野に入れた対

策になると考えております。

問 東駐車場に空きスペースがある事を、町内企業で働く方々に、勧めたことはあるか。

答 都市建設課長

空きスペースの件は告知したことはありません。目玉であります12時間100円ということも含めて、今後、告知・宣伝し、話し合いをしていきたいと考えております。

問 町内企業で働く方々の朝8時から夕方6時までの駐車スペースをぜひ確保できるように努力をして頂きたい。

東駐車場を調査したあと、町中心市街地の中に例えば、サンエーの上に三階、四階と伸ばすという考えはないか。

答 都市建設課長

その立体化が構造的に持つのかどうかという検証が必要でありますし、テナントでありますサンエー等々もそういった調整が必要となると考えております。

問3 役場正面玄関の改装

問 現行の玄関前は雨天の際、非常に不便だが、どのようにお

考えでしょうか。

答 総務課長

現在のこの玄関のひさしを伸ばすには、建築基準法の増築扱いになり、その結果、庁舎全体の耐震改修が必要であるので、それは耐震改修はできないという回答をさせていただきました。その後いろいろと建築の専門の方からも色々な意見、提案をお聞きいたしました。その結果、身障者側の駐車場側から屋根を伸ばすことは可能ではないかという考えに至りました。雨天あるいは炎天下の利便性の向上になるのではないかと考えております。



役場正面玄関



町外の公共施設



德里直樹

問1 沖縄県民間住宅耐震診断・改修等補助事業への取り組みは

問 沖縄県は建築物の耐震及び防災・減災対策を推進する目的で一括交付金を活用して鉄筋

コンクリート造民間住宅（戸建て・共同住宅等）の耐震診断・改修等を実施する方へ助成を行う市町村に対し補助する制度を平成24年10月に創設しました。本町の取り組みを伺います。

- 1 補助制度の概要は。
- 2 本町の補助制度対象物件数は。
- 3 「耐震改修促進計画」が未策定の理由は。

4 今後の取り組みは。

答
都市建設課長

1 耐震診断及び耐震設計補助は、戸建て住宅90万円、共同住宅は戸数に応じて最高300万円。

- 2 約370棟であります。
- 3 検討に時間を要したため。
- 4 住宅耐震化促進事業を実施してまいりたい。

問2 「残地」に対する
取り組みは

問 平成23年9月定例会一般質問 「残地に対する本町の対応は」についての答弁からこれまでの取り組みを伺います。

1 現状調査、管理台帳の作成
状況は。

② 残地部分の措置についての要綱、規定等の補償基準への取り組み状況は。

3 残地の適正な課税のための調査の実施状況は。

都市建設課長

1 今年度より「残地」について、調査を実施しております。

答 税務課長

3 都市建設課と連携し、残地に
関する台帳が整備され次第、
適正、公平な課税を行うための
調査を実施していきたい。

問3 嘉手納基地より南の6米軍施設・区域の返還・統合計画への対策は

問 移転先の一部には本町近隣のトリイ通信施設や嘉手納弾薬庫（知花周辺）に進められ

国道58号・水釜大木線・県道74号線や嘉手納基地への軍車両や関連する車両の交通量増加が予測され、それに伴い住環境など様々な生活環境への悪影響が懸念される。本町の所見及び対策について伺います。

今後の動向を注視しながら対応をしていきたい。



嘉手納基地

問4 住宅政策の進捗状況は

問 本町の住宅政策は優先課題であり、これまで住宅問題の現状や課題、住宅政策への提言を行ってまいりました。当局の答弁から、これまでの調査研究の進捗状況を伺います。

1 重点密集市街地地区対策への進捗状況は。

2 嘉手納児童館から南側一帯の調査研究の進捗状況は。

3 官民連携による住宅政策への調査研究の進捗状況は。

4 民間地の利活用（売買・賃貸等）への本町の対応は。

5 基地の影響から本町の抱える住環境問題の課題解決に原因者である国に対し基地の一部返還を含めた住環境対策を求められないか。

答
都市建設課長

1 整備メニューの検討と地権者及び居住者の理解を得ることのできる整備基本計画案の策定を目標としております。

2 本地区の問題は、民民の間
で介入できるので行政がどこま
で介入できるか慎重に検討する。

4 町では道路や公園、上下水



沖縄県民間住宅耐震診断・改修等補助事業概要

道などのインフラ整備を行い民間地を権利者が有効活用できるように促進していかなければならないものと考えております。

答 企画財政課長

5 住環境問題は本町において喫緊の課題であります。これらの抜本的な課題解決に向け、市街地に隣接する米軍用地の一部返還など、段階的な返還も考慮する必要があると考えます。今後国に対しましては、関係部署と連携をしまして、諸課題を整理しながら検討を進めてまいりたい。

平成26年度 第27回 嘉手納ハーリー大会 6月8日(日)



毎年恒例参加の議会チーム

総務財政常任委員会 「町内道路の事故多発地点調査」

総務財政常任委員会では、町内道路の事故多発地点の実態調査を行っております。嘉手納警察署より平成24年・25年の町内で発生した車両事故等の多発する場所、原因を確認し、現場検証を行いました。その中で、道の駅近くの県道74号線と久得牧原線交差点での車両事故が最も多く、続いて、ロータリープラザ前の県道74号線と国道58号線交差点、旧水釜交番所前水釜交差点での事故が多発している。



旧水釜交番所前水釜交差点



道の駅近くの交差点



嘉手納ドーム前の交差点



ロータリープラザ前交差点

子ども達の「安全」を見守るため

今年も児童生徒にとって楽しい夏休みが近づいてまいりました。そこで、子どもたちが、事件・事故にあわずに健やかにすごせるよう、「第24回嘉手納町心豊かな青少年を育む夕べ」が7月11日(金)に地域のみなさまのご協力を得て、開催されました。

多くの関係者が見守る中
ヒーロー登場(嘉手納警察署)

議会だより

題字紹介

屋良小学校 5年生
おおしろ ひかり
大城妃加里 さん

議会だよりの題字をお願いされた時は、正直おどろきました。けど、代表に選ばれたのは、とてもうれしかったです。

小学校3年から習字の勉強を頑張ってきて、良かったなと思いました。最近は、筆を持つてなくて、きんちょうしました。今、自分が持っている力を精一杯使って書きました。

沖縄タイムス 記者
仲間 勇哉 氏

議会見てある記

あなたも参加しませんか

みんなの議会へ

No.58

沖縄タイムス社の地域担当記者になって1年4カ月。主な仕事内容は地域の出来事を追うことと地域議会のチェックだ。正直、記者になるまで地域の議会にあまり関心はなかった。必要なことは議会だよりなどで知ることができると思っていたからだ。しかし、実際に議会の傍聴するととても面白い。町民の生活を少しでも充実させるため、町役場職員と町議が熱い議論を繰り広げている。時には議員がヒートアップし過ぎることもあった。

が、それだけ地域住民と町のことを想っているからだと考えている。福祉や教育、介護などの生活に関わる問題や今後のまちづくりの指針、基地問題。議会はさまざまな角度で私たちの生活を支えてくれている。新制度や道路の舗装など普段はさりげなさ過ぎて気付かないような些細なもの、議会でも多くの検証を重ねて生まれたものだ。今年度の議会は9月と12月。仕事や家事、子育てで忙しいとは思いますが、役場に行く機会がありそのときに議会が開会していたなら、少しの時間だけでも議会の傍聴してみたいかがだろうか。皆さんが選んだ代表者と町の運営を担っている職員の熱い議論を見て、1人1人が町の未来について考えることが、より良い社会につながるのではないだろうか。

●発行・嘉手納町議会 ●編集・議会広報調査特別委員会

〒904-0293 沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 588 番地 TEL 098-956-3113 FAX 098-956-3100

町議会ホームページ
<http://kadana-gikai.jp>

嘉手納町議会

検索